

福祉のかけ橋

平成20年8月号

第46号



チャレンジデー 2008 in なんと

5月28日(水)午前0時～午後9時、南砺市全域で開催。住民が15分以上継続して運動やスポーツを行い、その参加率を対戦相手の自治体と競う「チャレンジデー」に当地区住民も参加し、さわやかな汗を流しました。

今年対戦相手は沖縄県南城市、我が南砺市は相手に5%を上回る60.3%で見事勝利しました。私達も継続的にスポーツに取り組み、明るく健康な生活を送りたいものです。



老人クラブとしての福祉への想い

地区老連会長 瀧田 榮三

現在、後期高齢者医療費負担や、二〇二五年には四人に一人が高齢者になるなど、高齢者の役割も変わりつつあります。また、昨今、連鎖的におこっている若者の無差別殺人などなど、耳を塞ぎたくなるような問題が多々ある現況の中で、今こそ人と人の絆が求められる社会なのではないでしょうか。

現在、福祉施設もサービスも充実しているように思いますが、福祉を提供する側、提供される側の気持ちはどうでしょうか。福祉を受けるとか、してあげるなど、構えた物ではなく、まず家族から、そして地域の人々との挨拶「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「お元気ですか」の一言から、人と人が支えあい、心の通った本来の福祉が始まるのではと考えております。また、地域内の世代交流などの行事を通じて核家族化が進みお年寄りとの関わりが少なくなつた世代と関わる事で、自らの生き甲斐を高め、健康づくりを進めるとともに、より良い社会につながるようなきつかけを作れたらと思います。高齢者が増加する社会にあつて、高齢者が主体となつて介護予防活動を行う事が、地域を支えていくという観点から、老人クラブの活動や役割にますます期待が寄せられて行くのではないかと思います。

第一回 八乙女福祉カレッジ

合同学習会に参画して



高齢者教室学級長 前川 哲朗

このたび私が南山見高齢者教室のお世話をする事になりました。浅学非才ではありますが、皆様方のご指導を得て、全力で頑張りたいと思っております。第一回八乙女福祉カレッジ教養講座として、南山見社会福祉協議会と南山見高齢者教室の合同学習会を六月十六日に開催することになり、講師として、島山芳子先生にお願いすることになりました。

演題として『自然のなかで甦るいのち』（人生二毛作）、平成十一年、武蔵野市々議会議員を七期で引退し、六十才を機に、利賀村に移住、現在は都市交流協力員として活動しておられ、地域の皆さん

にやさしく支えられて、アツと言う間に九年が経ったのです。

富山県（利賀村）の魅力について、自然の豊かさが大きな宝となつてどつしりとしたものがある。

高度経済成長の陰で置き去りにされた日本人の暮らしの原点が残る水の豊かさ、平野に流れ田畑を潤し、やがては海に流れ、大きな生けすとなる。そこで私は豊かな自然の中で逞しく育てと願い「セカンドスクール」の開校を実施し、今年も児童及び随行者も含め、一〇〇人武蔵野市小学校生が七泊八

日利賀村で農業の本体である稲作りと自家用野菜作りをし、子供達がいよいよと豊かな自然体験する。今日青少年に厳しく言える、本当のことが言えるのは、おじいちゃん、おばあちゃんであり、また指導する義務があるように思う。これからは自然の中の豊かさは、私達富山の大きな宝、その宝が人生を変えたり、少年の心を豊かにする人生を与えてくれると思う。

最後になりましたが、先生のご講演を聞き、これからの日本を担う若人よ、自然にある、空気、水、土とふれあつて、明るく環境の良い地域を作り、未来を拓く健全な子供を育てようではありませんか。

地域の絆を「ケアネット」活動に

地区社協会長 小橋外喜雄

今、日本の国は住民同志の付き合いや、助け合いが希薄になり地域の絆が弱まつてきていると言われている。

幸いこの地区ではこんな事は進行中でも、かたちに現れていない。地域社会は崩壊したと言われているが、まだ捨てたものではない。

孤立した一人暮らし老人も意外と近所の人とつながっている場合が多い。朝夕の犬の散歩や、ウォーキングで毎日顔を合わせる仲間がいたりする。見守りや、生活支援、声かけ等でケアネット活動（地域総合福祉）に生かして行くべきだと思う。

支援が必要な高齢者につき合いのある住民が、民生委員と福祉関係者と連携をする仕組みが益々重要となるのです。

事例としていえば、孤独死などを防ぐには、見守り活動では近所の人たちの方が民生委員より早く異変に気付くことが多い。「最近

顔を見ない」「体調が悪い」「言葉が返ってこない」といった暮らしの些細な変化も情報として伝わるシステムが重要であると思う。

一般の住民が多くの情報を社会福祉協議会や、地域包括センター等のつなぐ役割が民生委員だと思

う。高齢者の家を、一軒一軒回り安否確認、声かけだけが「ケアネット活動」「訪問支援活動」ではない。地域住民と福祉関係機関が連携を密にしてより重層的な見守り体制で孤独死を防ぐことも出来るのです。

高齢者は、加齢とともに身の回りのことができなくなり、ゴミだし、買い物等困つたことがあまりにも多いのです。

高齢者の生活を支えてくれる住民がいけない訳ではないが人それぞれ自立したいから、他人に助けを求めろのに勇気がいるのです。

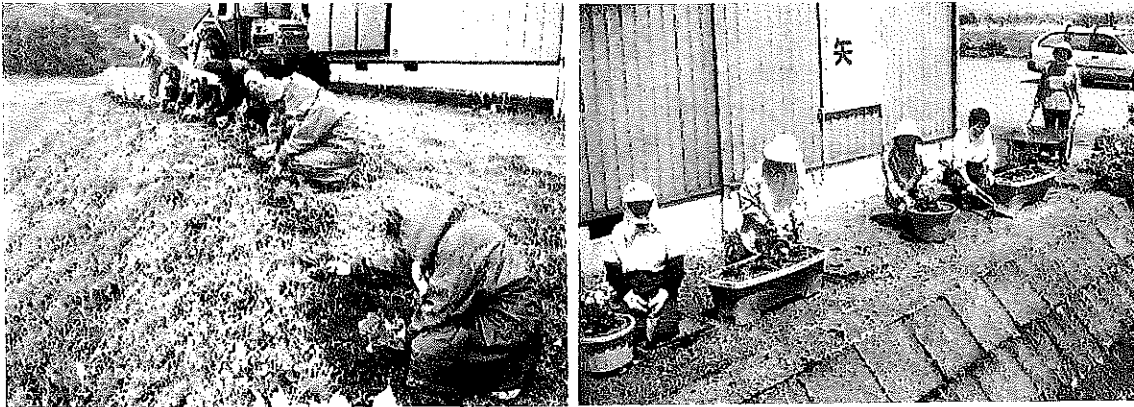
地域住民に求められるのは、高齢者の困り事や、福祉ニーズを発掘し解決していく積極性に有り、「高齢者はもつと助けられ上手」になつて欲しいと言うことです。助けられることは惨めなことではない、高齢者は福祉の主役になることなのです。

環境美化について



若葉グループ長 林 みつ子

環境美化活動の一環として、毎年花苗が配布され、花壇づくりをしています。花と緑でつむむことにより、快適で健全な社会創造に、花はサルビア、ペコニア等でした。老人クラブとボランティアの方と植付をしました。花を育てることにより、生命あるもののいつくしみの心を育て、お世話を続けることの大切さを知ります。今年も、きれいな花が咲きますように……。



連日プール遊びに、運動会に向けての鼓隊演奏に挑戦する子ども達の笑顔が、保育園いつばい満ち溢れています。

地域の皆さんのご協力をお借りして育てた野菜作りも今年の暑さの中でもたくましく育っています。その間「カラスにトマト食べられたよ。」「トウモロコシもだよ。だからおばあちゃんネットにかけているよ」等。野菜作りは、子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとして食材であることや、人への感謝の気持ちや育ったよいい機会でした。

さて当保育園では、心身ともに健康な子、自分で考え行動できる子、思いやりの心をもつ子……成長に
応じた体験を取り組めるよう環境作りに努めています。

0歳児〜2歳児は、ゆったりとした時間の中で広い園庭やテラス、保育室で保育士とのふれあいの中で過ごせるように。3歳児〜5歳児は、「やってみよう」「おもしろそう」という子どもの気持ちを大切にしようということとで自らが遊びを見つけ挑戦できるように。保育士が間接的な遊びの仕掛け人になろうと話合い見守っています。

現在37名の子どもたちが在園しています。連日子ども達の目は、「ぎょうは〇〇遊びをしよう！」と輝いて登園してきます。そんな子どもたちの集大成として9月27日に運動会を開催します。この機会に家庭や地域の方々に、子ども達の姿をご覧いただき、ますます、また今後とも温かいご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

子ども達の思いから

南山見保育園 園長 斉藤 俊枝



う！」と輝いて登園してきます。そんな子どもたちの集大成として9月27日に運動会を開催します。この機会に家庭や地域の方々に、子ども達の姿をご覧いただき、ますます、また今後とも温かいご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。



平成20年度 南山見地区社協事業経過

(平20.4.1~7.18まで)

年月日	実施事業	場所
H20. 5. 13	理事・監事合同役員会 (新役員による事業計画、予算等)	南山見公民館
5. 31	ケアネット活動委員会 (新委員による活動計画の打合せ会)	南山見公民館
6. 4	緑化関係事業 (花苗配布・環境美化活動)	地区内
6. 15	高齢者学級・地区社協合同学習会開催 講師 畠山芳子氏	南山見公民館
7. 8	広報委員会 (福祉のかけ橋46号)	南山見公民館
7. 9	4地区社協役員会 (会長・事務局出席)	福祉センター
7. 11	地区社協事務担当役員打ち合わせ会 (敬老会・県政バス等)	南山見公民館
7. 18	支所運営委員会	福祉センター

当面の行事案内



① 地区合同サロンと第十七回敬老の集い

日時 九月二十一日(日)
午後二時三十分~午後四時
場所 地区公民館
満七十五才以上の方々を招待

今年目出度く米寿を迎えられた方々には南砺市長からお祝いされます。式典の後法話そして子供たちによるアトラクション等を楽しんで頂く事になっています。

② 第二十回ボランティアもう一人運動

日時 十月上旬に実施予定
場所 マーシ園内
園内窓拭き、シート交換などボランティアに関心ある方、見学を望む方参加して頂きます。

③ 第二回八乙女福祉ガレッジ

「県政バス旅行」の案内
現在県に三十余人枠で申請中。認可あれば1日コースで県の推薦する施設の見学が出来ます。
日時 十月下旬

④ 第三回八乙女福祉ガレッジ

学習会 学習1 交通安全教室
学習2 保健学習
講師 保健センター、南砺警察

場所 地区公民館
日時 十一月
高齢者教室と地区社協合同で開催されます。



賞
当地区ボランティアグループに交通安全協会井波支部より感謝状授け与えられる。

受賞に当って

双葉グループ長 前川 達子
今回、交通安全協会、井波支部より、双葉グループが団体表彰を受賞しました。

グルーブ員、大変喜んでいきます。今まで、秋の交通安全運動実施中、ドライバークの皆様へ渡すマスコット作りを重要視していた、いただいたものと思っております。

毎回グルーブの方は何ヶ月前より何がよいか大分思案します。決定すれば材料を買い求め、二・三回忙しい中、夜2時間位集まり、形がどうの、出来ばえがどうの「皆に喜んでもらえるかね」とか話しながら手の方にも力が入って、あつという間に時間がすぎます。

マスコット配布の日、南砺警察署の交通指導員により、交通安全協会南山見分会、地区社協の方々、ボランティアグループの皆様と交通安全キャンペーンを行います。
配布する時「安全運転でお願いします」

「ます」と言う「ありがとう」と笑顔が返って来ます。中には「あら、かわいいね、助手席の人もほしい」といわれ、びっくり。作って皆さんに大変喜ばれ「よかったね」配布に協力して下さった方々も笑顔。
これからはドライバークの方がさわやかな気持ちでハンドルをにぎり、交通事故が起きないように願ひ、これからも出来るかぎり、キャンペーンに協力してゆければ幸いです。

編集後記



皆さんは「不都合な真実」という映画をご存知ですか？ アメリカの元大統領、アル・ゴアが温暖化によって引き起こされる数々の問題に心を痛め、人々の意識改革に乗り出すべく、環境問題に関する講演を世界中で開き、地球と人類の危機を訴えてきました。そして彼を主人公にし、人類に警告を伝えている映画が「不都合な真実」です。私はこの映画に感化され、自らも環境問題に取り組みたいと思いました。私もアル・ゴアのようにこの我が愛すべき故郷「南山見」からできることをしていきたいと思ひます。まずは福祉のかけ橋の最後で環境問題について叫びます。「みんなで止めよう温暖化！」
ラベンダー娘

号数	第四六号
発行	平成二十年八月
所在	富山県南砺市川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう